

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスマカロン朝倉		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月12日		～ 令和8年 3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年3月7日		～ 令和8年 3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全体が支援に対して個を重視した考えを持っていること。 発達レベルや課題に合わせて柔軟に提供する支援を変えていること	全職員が支援に参加すること、そのために日々の職員間のコミュニケーションや共有を図る場の設定、研修の機会を定期的に持つこと	利用者それぞれの特性、状況にあわせたバリアフリーを含めた環境設定の工夫
2	定期的に必要に応じた研修・ミーティングを実施できていること	毎月全員がそろう日を調整し、実施している 毎日必ず事前打ち合わせや申し送りをしている	市の自立支援協議会が開催してくださっている研修への参加や、職員の要望に応じた研修の開催などを工夫していく 事業所内で必要な研修を適宜検討し実施する
3	必要に応じた空間の使い分けができていること	活動やスケジュール、利用者の状況に合わせて使うスペースや部屋を分けている 個別対応をしている	より構造化をし、どの児童でも安心して過ごせり環境設定をしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流の機会が少ない	必要があるかどうか不明な点	保護者の意見を取り入れながら需要に合わせて計画していく
2	まだまだ共有できていないこともあること	勤務時間が時短勤務の職員もいるので、帰りの共有時にいなく共有が不十分な場合もあること	日報の活用を意識し、それぞれに確認を周知徹底する事により充実を図る。
3	構造や環境を活かし切れていない	活動や余暇の過ごしの際に必要な場所が確保できなかったり手狭に感じる節がある	整理整頓やモノの移動などで最大限広く活用できるよう工夫する